

マンスリー 多文化サロン

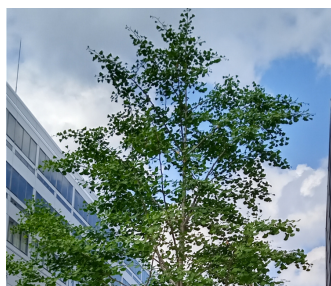
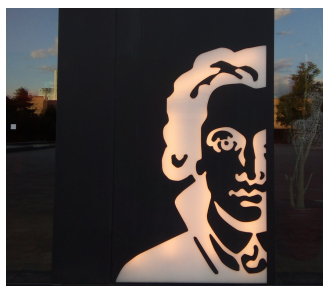


ゲーテと銀杏の木

阪大のシンボルマークにもなっている銀杏は、秋の風物詩として日本人にとってはとてもなじみ深い植物ですが、その木がヨーロッパに初めてもたらされたのは意外にも遅く18世紀になってからのことでした。この新しい植物に魅せられていたドイツの文豪ゲーテは、代表作『西東詩集』で、銀杏の葉を愛のシンボルとして登場させています。ゲーテの詩を出発点として、銀杏をめぐるドイツと日本との意外な文化的接点などについてご紹介します。

橘 宏亮（大阪大学 人文学研究科 外国学専攻 助教）

慶應義塾大学法学部法律学科卒業、ヴェルツブルク大学（ドイツ）人文学大学院博士課程修了。専門はドイツ文学。



9月15日
開催！

会場は大阪大学
箕面キャンパス
です！

【日時】 2022年9月15日（木）19:00-20:00
【場所】 大阪大学 箕面キャンパス 1F 大講義室
大阪府箕面市船場東3丁目5-10
またはオンライン（参加者にはリンクをお知らせします）
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンライン開催のみとなる場合があります。
【お申込受付】 2022年9月5日開始（平日9-17時 9月12日×切）
下記のURL／右記のQRコードの登録フォームにて
<https://forms.office.com/r/Nk3m9jfQXY>
または大阪大学外国語学部 ☎ 072-730-5013
✉ jinbun-minoh-jigyo@office.osaka-u.ac.jp
※13日を過ぎても連絡メール不着の場合は、担当者までお知らせください。
【参加費】 無料



登録フォームはこちら

主催：大阪大学外国語学部
協力：みのお市民活動センター